

日本語コミュニケーションⅡ

科目ナンバリング JLN-102

必修 2単位

中沢 紀子

1. 授業の概要(ねらい)

前期と同様、日本語とはどのような特徴を持つ言語なのか、そしてその奥にあるコミュニケーションとは何なのかを考えていく。また、後期は私たちを取り巻く社会と言葉の関係について観察していく。私たちはある特定の言葉を聞いただけで、その使用者の性別(男性か女性か)や出身地(関東出身か関西出身か)などがわかってしまうことがある(例:「あたし」「俺」「わし」)。私たちが使用している日本語は、地域差・世代差・性差など様々な社会的要素と大きく関係している。授業では、身近な日本語の諸問題を取り上げ、私たちを取り巻く社会と言葉の関係について観察していく。

2. 授業の到達目標

- ・日本語を客観的に考察することができる。
- ・日本語の一般的特徴を説明できる。

3. 成績評価の方法および基準

出席(40%)・テスト(50%)・授業で行う課題(10%)

4. 教科書・参考文献

教科書

授業ではプリントを配布する。

5. 準備学修の内容

授業内容について、自分のことばで説明出来るようにすること。

6. その他履修上の注意事項

授業内で感想・現在気になっている言葉などコメントを書いてもらうことがある。
また回によっては、ペア・グループワークを行うことがある。

7. 授業内容

- | | |
|--------|-------------------------------------|
| 【第1回】 | ガイダンス |
| 【第2回】 | 日本語コミュニケーション① |
| 【第3回】 | 日本語の文法① |
| 【第4回】 | 日本語の文法② |
| 【第5回】 | 日本語の文法③ |
| 【第6回】 | 「わたしはお水です」「私はチキンです」は日本語として間違っているのか? |
| 【第7回】 | 日本語の人物呼称① |
| 【第8回】 | 日本語の人物呼称② |
| 【第9回】 | 社会と言葉①(敬語・性差・世代差・社会階層差) |
| 【第10回】 | 社会と言葉② |
| 【第11回】 | 社会と言葉③ |
| 【第12回】 | 日本語コミュニケーション② |
| 【第13回】 | 方言と新方言 日本語の地域差① |
| 【第14回】 | 方言と新方言 日本語の地域差② |
| 【第15回】 | まとめ |